

各位

会社名 北川精機株式会社
代表者名 代表取締役社長 北川条範
(JASDAQ・コード6327)
問合せ先 取締役経営企画室長 内田浩靖
(TEL: 0847-40-1200)

中期経営計画の策定について

当社グループは、昨今の事業環境の大幅な変化を踏まえ、昨年策定した中期経営計画を見直し、新たに平成27年6月期を最終年度とする3ヶ年の「中期経営計画」を策定しました。概要は下記のとおりであります。

記

1. 策定の背景

当社は創業以来、独自のプレス技術を基に産業機械分野において着実な発展を遂げてまいりましたが、同分野におけるリーマンショック以降の需要低迷及び事業領域の拡大を狙って参入したPV事業での急激な市場環境悪化を背景に、大幅な赤字が継続している状況となっております。

平成24年6月29日に公表のとおり、当社は、PV及びEDLC両事業の現状と将来性を熟慮した結果、同日開催の取締役会において「太陽光発電用シリコンウェハー」及び「EDLC」の製造から撤退することを決議しております。

今後は、当社発展の基盤であったプリント基板成形用プレス機械の分野を中心に改めて国内外市場に根を張り直し、周辺分野に根を伸ばしながら揺るがぬ成長の土台を築いて行くことが最重要であると認識しております。

このような状況を鑑み、早期再建を達成するために、当社は平成25年6月期を初年度とする新しい「中期経営計画」を策定いたしました。

2. 基本方針

(1) 真空プレス技術の深耕

当社独自のプレス技術の優位性を活かした高品質・高付加価値製品の開発に注力し、国内外でKITAGAWAブランドの価値を更に高めてゆく。

(2) 収益力の強化

不採算事業からの早期撤退完了、及びコア事業での売上増強と採算管理徹底により、高い収益力を早期に回復し、安定的・持続的な成長基盤を構築する。

(3) 活力溢れる組織の実現

「独創的発想の重視」「困難に挑戦する行動力」「コミュニケーションの深化」を鍵として、組織の活性化を図る。

3. 具体的施策の骨子

(1) PV・EDLC両事業の製造からの早期撤退完了

両事業にかかる製造設備の処分等を早期に行い、平成25年6月期中に両製造事業からの撤退完了を図ってまいります。

(2) コア事業への経営資源の集中

当社のコア技術・新技術に対応した新製品の開発による新規市場の開拓、及び営業体制の見直しによる新規顧客を中心とした営業強化に注力してまいります。また、生産工程の徹底的な見直しにより、収益性の改善にも集中的に取り組んでまいります。

(3) 固定費の削減

全ての経費項目において見直しを行い、削減策を実行いたします。また、業績の早期回復を実現するために、一定期間において全社的に人件費削減を実施してまいります。

(4) 組織の再編

不採算事業の整理、コア事業への集約を機に、施策遂行を目的とした機能重視の組織に改編すると共に、若手人材を積極的に登用し、組織の活性化を図ります。

4. 数値目標

【連結業績】

(単位：百万円)

	平成24年6月期 (実績)	平成25年6月期 (計画)	平成26年6月期 (計画)	平成27年6月期 (計画)
売上高	3,225	4,445	4,700	5,100
営業利益	△881	390	280	430
経常利益	△926	310	200	350
当期純利益	△2,287	200	185	335

【個別業績】

(単位：百万円)

	平成24年6月期 (実績)	平成25年6月期 (計画)	平成26年6月期 (計画)	平成27年6月期 (計画)
売上高	2,136	3,330	3,760	4,100
営業利益	△925	210	240	390
経常利益	△950	135	160	315
当期純利益	△2,293	130	155	310

以上